

アンテナバラン 組立部品セット DB-200-v2

50Ω 不平衡 : 200Ω 平衡 1.8MHz~30MHz

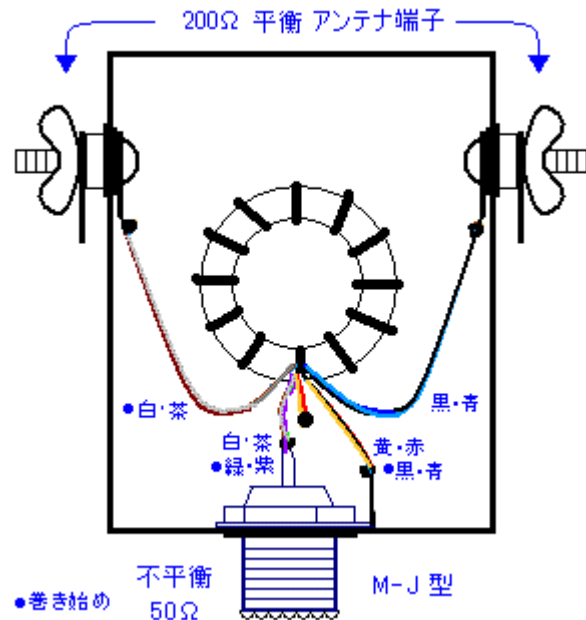
許容入力電力 : 連続 60W / CW SSB 130W

サイズ 50W × 75H × 30Dmm (突起物を除く) 重量 約 120g

50Ω : 200Ω バランの作り方

- 0.4mm 4P (8本組線) を、コアに、12回巻きます
- その被膜線の両端末とも、ペア4組を結線ねじり合わせます
- 巻き始めと、巻き終わり、端末配線の通り配線し、半田付けします (結線のジョイント1ヶ所はテープなどを巻いて絶縁しておく)
- プラボックスにボルトナット M-BR (M型座) を取り付ける
- 巻いて作ったコアを、構成図のように、ボックス内に収めて結線半田付けします
- 接着剤などで、端子等をかためて、フタをして完成です

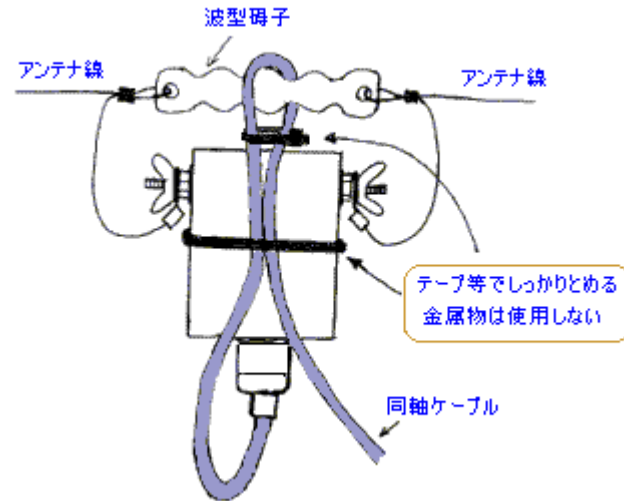
構成図



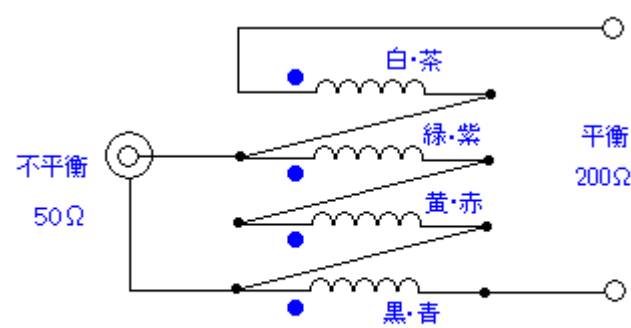
組立完成例



バラン取付方法

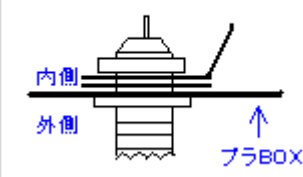


回路図

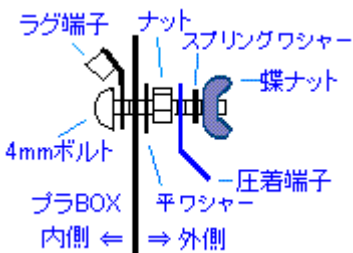


巻き数比 = 2:4 = 1:2
インピーダンス比 = 1:4 = 50Ω : 200Ω

同軸接栓座 MBR の取付方



アンテナ端子取付方法

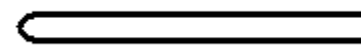


部品表

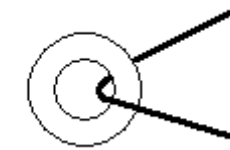
フェライトコア FT-82-43---1
0.4mm 4P被膜線-----40cm
M型接栓座 M-BR---1
ステンボルトナットワッシャー
蝶ナット、ラグ端子---2組
プラボックス---1
波型碍子---1
結束バンド---2

コアの巻き方

1、0.4mm 4P被膜線(8本組線)を半分ほどで折り返します



2、4P被膜線(8本組線)をコアに約半分の長さで通します

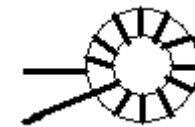


3、半分の4P被膜線(8本組線)を6回巻きます (コア内通過数)



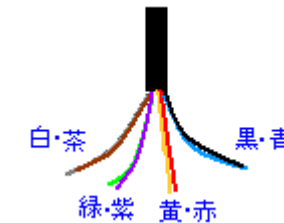
4、もう半分の4P被膜線を図のように同様に6回巻きます (コア内通過数)

合計12回巻きます



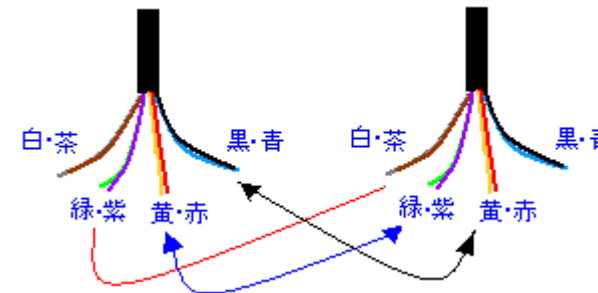
5、端末処理

コアに巻いた4P被膜線の両端末とも、下記のように結線ねじり合わせます
白と茶線 / 緑と紫線 / 黄と赤線 / 黒と青線 を 結線し、ねじり合わせます

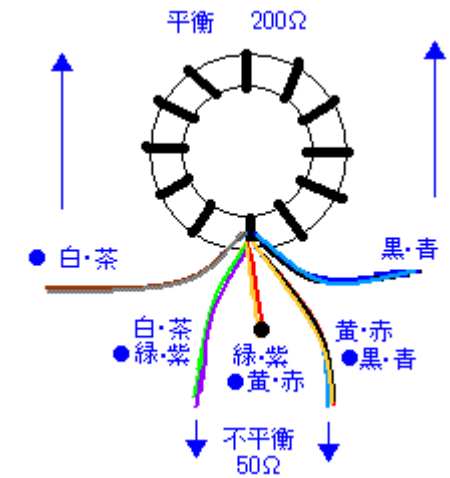


6、端末配線

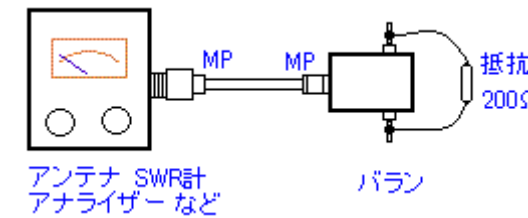
ねじり合わせた4P被膜線の両端末を、下図のように巻き始め、巻き終わりを、配線結線し、ねじり合わせます



結線ジョイント1ヶ所はテープなどを巻いて絶縁します (緑・紫と黄・赤線)



SWR測定方法



抵抗は短く接続します (コアに直に接続した方が測定誤差は少ない)

コア完成例



有限会社 大進無線

〒410-0022 沼津市大岡 2223-14
TEL 055-925-4961 FAX 055-925-4962

URL <http://www.ddd-daishin.co.jp/>
E-mail info@ddd-daishin.co.jp